

2006年12月26日

報道関係各位

ナブテスコ株式会社
[証券コード：6268]

ボーイング747最新モデル「B747-8型機」向け
飛行制御システムを受注

ナブテスコ株式会社（本社：東京都港区、社長：松本 和幸）は、B747型最新モデル「B747-8」向けの飛行制御システム重要構成製品であるアクチュエーション・システムをボーイング社（米国）より受注いたしました。

当社が受注したシステム製品は、主翼に搭載される最新技術を採用したフライ・バイ・ワイヤー方式アクチュエーターで構成され、飛行制御用可動翼のエルロン、スポイラーを駆動するものです。これらの装備品は、機体のロール方向の姿勢をコントロール（機体の前後軸まわりの運動をコントロール）する重要な役割を果たします。当社は、開発を経て2008年度には量産製品の納入を開始する予定です。

【B747-8型機について】

B747-8型機は、現在のB747-400型機（ジャンボ機）を約5メートル延長し、新型エンジンを搭載するボーイング社最大の航空機です。旅客型と貨物型の2機種で構成されています。また、同機は、ジェネラル・エレクトリック社製GENx エンジンを採用することにより、現行のB747-400型機より30%の騒音低減を実現し、また燃費消費率を向上します。

旅客型であるB747-8インターコンチネンタルは、B747-400型機と比較すると、51席増席し、貨物搭載量を28%増量すると共に、燃料消費を16%向上し、シートマイル*1を10%低減します。

一方、貨物型のB747-8フレイターは、B747-400型機と比較すると、貨物積載スペースを16%増大すると共に、燃料消費を16%向上し、トンマイル*2を14%低減します。

なお、B747-8初号機は2009年にカーゴルクス社（ルクセンブルク大手貨物航空会社）に納入される予定です。

ナブテスコ株式会社 総務部広報担当

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号 TEL 03-3578-7070 FAX 03-3578-7237

(注) *1 シートマイル： 1座席あたりの経済性
*2 トンマイル： 1トンあたりの経済性

【ご参考】

B747-8型機

